

皆の広場 素人の歴探考①「古代視入門」

自文科 永野 徹



- * (1) 倭人の記録
- * (2) 縄文・弥生文化
- * (3) 卑弥呼
- * (4) 古墳文化
- * (5) 銅鏡



(1) 倭人の記録(中国漢書)

(時代)	(年代)	(できごと)
○縄文	BC1000頃(周)	論衡(王充)・・・倭人が楊草(羊毛)を献上 夏(BC2000)、殷(BC1500)、周(BC1000~BC700)
弥生	BC300頃(戦国)	山海経(地理誌)・・・倭人は航海・漁労の民
弥生	BC108(前漢)	漢書(班固著)・・・倭(楽浪海中百余国)朝貢
○弥生	57(後漢)	後漢書(范曄)・・・奴国王が朝貢(金印紫綬)
○弥生	107(後漢)	後漢書(范曄)・・・倭国往来30国、生口160献上 ・吉野ヶ里・面土(奴)国王が朝貢?
○弥生	239(魏)	「魏志倭人伝」= (魏書東夷伝) 三国志(陳寿) ・邪馬台国女王卑弥呼が魏に朝貢(親魏倭王)
古墳	266(晋)	臺与が生口30・絹織物を晋に朝貢

① 歴史書 (記紀等)

記紀の系譜

段階	書名	記事	備考
	旧辞	古事記の説話・神話部分となる	記録(681年)
①口承	5C~6C	天武の命で稗田阿礼暗誦を川島皇子等が記録。	説話・系譜口承
あったらしい	帝紀	天皇家の系譜的記事(皇統)	記録(681年)
	国記	倭国歴史書?(旧辞系統)	聖徳太子
②焼失	推古620年	皇太子・嶋臣共に譜り天皇記・国記・・・本記を録す 蝦夷邸宅焼打ちで天皇記焼失、国記消失前に取り出?	と蘇我馬子
あったが焼失	天皇記	皇室の系譜?(帝紀系統)	の監修
	古事記	天武天皇の命で稗田阿礼が暗誦、太安万侶が編纂	元明天皇に上申
◎記・紀	(和同5年)710 (養老4年)720	奈良時代に完成した日本の歴史書(神代~持統まで) 編纂を命じたとされる。中国史書は(266~413)次第の4世紀	
	日本書紀	天武天皇が川島皇子以下12人に帝紀・上古の諸事	元正天皇に上申

② 記紀とは：(記)古事記、(紀)日本書紀

(歴史書) 制定年 天皇	記事	補足
(古事記) 和銅5年(712) 元明天皇 漢音体 全3巻	・天皇家の私史(伝記中心) 天武天皇が稗田阿礼に暗誦 太安万侶に編纂を命じた。 藤原不比等が監修? 天地~推古天皇まで	・7世紀後半、天武天皇の 命で編纂された。 ・天皇家中心の国家基盤 を築く為に歴史書必要。
(日本書紀) 養老4年(720) 元正天皇 漢文 全30巻+系図	・国外向け日本正史(国家) 天武天皇が川島皇子他12人 に命じて帝紀等上古の諸事 を再調査・編纂させた。 藤原不比等が監修?	・奈良時代完成の歴史書 (神代~持統天皇)記載。 ・中国史書に(266~413) 年間は倭国の記事無し。

③ ニニギ以前の天族降臨

降臨地域	降臨者	神系譜	祭祀神社	備考
(初降臨)	スサノオ		出雲大社	
① 出雲国	天穂日命 タケヒナリ	天照第2子 出雲国造祖神	能義神社 神魂神社	天から神宝
(2書目降臨)	(天火明命)	アマノホヒミコ第1子	天磐船有り	妻:登美夜須昆壳
② 交野市(時家)	邇藝速日命	瓊瓊杵尊の兄	磐船神社	物部十千根の三宝檢校
生駒の登美へ	32神を伴い降臨	物部・徳積祖神	石切剣箭神社	十種の神宝持ち降臨
(3書目降臨)	(アマテラスの孫)	①天璣無窮の神勅	皇室の御先祖	妻:木乃花咲耶姫
◎ 高千穂の峯	瓊瓊杵尊	②宝鏡奉斎の神勅	高千穂神社	子:海幸彦・山幸彦
長屋の笠狭崎	父神:オノミ	③斎庭の稲穂の神勅	霧島神社	御陵:男狭穂塚古墳

(2) 縄文・弥生文化

- ① 時代比較(縄文と弥生)
- ② 縄文時代
- ③ 弥生時代



① (縄文・弥生) 時代比較

	縄文時代 (BC13000~BC300)	弥生時代 (BC300~AD250)
骨格	縄文人(低い・厚顔・毛深い)	弥生人(高い・平面・毛薄い)
気候	温暖(海進)	やや寒冷(海退)
収穫	狩猟・採集・漁労	稲作・狩猟・漁業
社会	共同体(平等)	首长体(貧富差)
衣料	草木縄・網布	稲縄・織布
食料	木の実・肉・魚・貝	米・肉・魚・貝
土器	縄文土器(低溫焼・縄模様全体)	弥生式土器(高温焼・波模様)
墓	共同墓地	墳墓出現・装飾品

② 縄文時代 ≒ BC (15000~300)

遺跡：貝塚遺跡、竪穴住居跡

- * **土器**：煮炊用広口深鉢(稲縄紋ではない!)
- * **石器**：磨製石器(新石器時代)
- * **気候**：温暖で海面上昇(現在より2~3m)
- * **繊維**：タヌキラン、アカソ、大麻、カラムシ(紐・網布)
- * **縄種**：縄の太さ(4種使い分け一網・縄・紐・糸)
- * **食料**：木の実、貝、魚、エビ、野菜、哺乳類他
(既に現在の食材と変わらず)
- * **※縄文後期に稲作開始(最近の研究成果)**



②-1 縄文遺跡 (青森県) BC (3000~2000) 頃の遺跡

○縄文遺跡：三内丸山



②-2 縄文縄種 (タヌキラン・アカソ)

タヌキラン



暮らしとの関わり
石炭では「ワスタ」と呼ばれた。



麻 紐
カヤツクワ科

アカソ



②-3 縄種 (麻)

大麻(アサ)は、その葉から天然繊維がとれるので、縄の原料として使われてきた。しかし、大麻(アサ)は、天然繊維だけでなく薬用(カンナビス)としても知られ、縄の原料として使われてきた。縄の原料として使われてきた。

大麻(アサ)の見分け方



大麻(アサ)は、葉が卵形で、太さ1cm以上ある葉が特徴です。葉の裏面に白い毛が生えています。葉の裏面に白い毛が生えています。

【葉の特徴】



葉は、卵形~卵状長形、3~9枚、(通常は5枚)の葉が重なるように生えています。葉の裏面に白い毛が生えています。

【花の特徴】



花は夏に咲き、穂状に穂が伸びるようになります。穂は、葉のつけ根に穂状に穂が伸びるようになります。穂は、葉のつけ根に穂状に穂が伸びるようになります。

②-4 縄種 (カラムシ)

苧麻(からむし)



② - 5 縄文時代の布 (織布は弥生)

○縄文時代の網布(あんぎん)



③ 弥生時代 (BC300~AD250)

- * 遺跡: 環濠集落、小部族国家誕生
- * 気候: 海面退化(小氷河期▼2~3M)
- * 土器: 貯蔵用壺、炊飯用甕、刷毛目、叩き目、スタンプ模様
- * 文化: 青銅器・鉄器文化(農機具等)
- * 農耕: 水田耕作(稲作が本格的に普及)
- * 墳墓: 高塚式墳墓が出現(弥生後期)
- * 特記: 後漢書(奴国王57年)・金印紫綬を授与
魏志倭人伝(239)・卑弥呼魏へ朝貢



③ - 1 弥生遺跡(部族国家誕生)

日本の歴史



吉野の里遺跡



弥生式土器

(3) 卑弥呼 (AD239年頃)

1. 魏書・東夷伝・倭人抄(三国志)

- ・魏志倭人伝(俗称): 卑弥呼が朝貢
- ・邪馬台国女王(卑弥呼); 金印・銅鏡授与

* 2. 邪馬台国論争

- * 近畿説(奈良:箸墓古墳他)
- * 北九州説(みやま市他)
- *

1. 魏志倭人伝 (晋: 陳寿)

(魏書・東夷伝・倭人の条)

- * ① 卑弥呼: (邪馬台国女王)
 - ・239年卑弥呼が魏へ朝貢した
 - ・「金印」と「鏡100枚」を授与
- * ② 邪馬台国 への旅程:
 - ・倭人: 帯方郡から東南海上にある
 - ・旅程: 帯方郡(楽浪郡) ~ 12000里
 - ・倭国: 多数の小国家連合
- * ③ 邪馬台国の生活:
 - ・7万戸(56万人)裸足、倭縮(絹)、貫頭衣、鯨面、(食料)米、野菜、魚介類、獣肉、食器、

2. 卑弥呼の比定

(卑弥呼はだあれ?)

- * 1. 神功皇后(江戸: 松下見林)
- * 2. 熊襲女酋長(江戸: 本居宣長)
- * 3. 倭姫命(明治: 内藤湖南)
- * 4. 倭迹迹日百襲姫(大正: 笠井新也他)
- * 5. 天照大神(白鳥庫吉、安本美典)



(3) 卑弥呼の墓(魏志倭人伝)

- * 1. 卑弥呼の墓(魏志倭人伝)
 - * 親魏倭王金印、三角縁神獸鏡、墓はどこに?
 - * 「卑弥呼、以って死す、大いに塚を作る。径100余歩なり殉葬する者、奴婢百余なり」(没年:248年頃)
- * 2. 墓の特徴 (1長里=540M)≒7×短里
 - * 年代 : 3世紀半頃 (魏短里)1里=76m=300歩)
 - * 墓の形式 : 円形墳丘墓(円墳)≒φ150m?
 - * 規模 : 径100歩=100~150M(180m(長里)~30M(短里))
- * 3. どこに? : 邪馬台国論争(卑弥呼の墓候補地)
 - * ○(九州説) : みやま市(権現塚古墳、車塚、女山神護石・)
 - * ○(大和説) : 桜井市(箸墓古墳、ホケノヤマ古墳・)

○大和説:奈良県桜井市(卑弥呼の墓?)

箸墓古墳(3世紀半:後円部150m)

ホケノヤマ古墳(後円部55M:画文帯神獸鏡)



国土交通省 国土画像情報(カラー空中写真) 地図元

○九州説:福岡県みやま市(卑弥呼の墓説)

車塚古墳(前方後円墳) L=55M

権現塚古墳(円墳) L=48M



2. 邪馬台国論争

- * 1. 卑弥呼(魏志倭人伝)
 - * 親魏倭王金印、鏡100枚授与(見つかっていない)
 - * 「卑弥呼、以って死す、大いに塚を作る。径100余歩なり・殉葬する者、奴婢百余なり」(没年:248年頃)
- * 2. 墓の大きさ; (1長里=540M)≒7×短里
 - * 年代 : 3世紀半頃 (魏短里)1里=76m=300歩)
 - * 墓の形式 : 円形墳丘墓(円墳)
 - * 規模 : 径100歩=150m~30m ≒φ100m?
- * 3. 邪馬台国論争(卑弥呼の墓候補地)
 - * ○(大和説) : 桜井市(箸墓古墳、ホケノヤマ古墳・)
 - * ○(九州説) : みやま市(権現塚古墳、車塚、女山神護石・)

① 邪馬台国へのルート(魏志倭人伝)



② 邪馬台国への旅程(魏志倭人伝による)





(4) 古墳時代 (3c末~7c初)

- * ①古墳の種類
- * ②10大古墳
- * ③世界三大墳墓

○古墳とは

No	項目	説明
* 1	古墳の定義	「古代の墳丘墓」(広辞苑) 「3c末~7c初頃の墳丘墓」(歴史家) 「大和政権の前方後円墳」(歴史家)
* 2	古墳1号?	④卑弥呼の墓? (魏志倭人伝)
* 3	規模・種類	約14種 ②規模・形状を別掲。 ③古墳の大きさ:バステン(別表) (円墳、方墳、前方後円墳、前方後方墳、・・・)
* 4	古墳の数	全国(約162,000)基、円墳(≒9割) 前方後円墳(約5,000)基、兵庫(16,577)、千葉(13,112) 鳥取(13,094)、福岡(11,311)、京都(11,310)
* 5	その他	「前方後円墳」は大和政権特有の古墳? 「四隅突出墳墓」は出雲特有の墳墓? 「甕棺墓」は北九州特有、支石墓も多い

①古墳の種類

墳形名称	平面デザイン	立体デザイン	説明	主要古墳
前方後円墳 ぜんぽうごえんふん			古墳時代を象徴する墳形。死者を葬る部分を円形に作り、その前方部に方形の突出しを形成。近畿を中心に各地に広がる。	大仙古墳 箸墓古墳 五色塚古墳
前方後方墳 ぜんぽうごほうふん			前方後円墳の後円部を方形にしたもの。比較的前期に多く東海地方に顕著に見られる。	西山古墳 大穴塚古墳 山代三子塚古墳
円墳 えんふん			古墳時代を通じて、日本全国に分布。後期には、群集墳を形成。	丸墓山古墳 八幡山古墳
方墳 ほうふん			円墳や前方後円墳よりも後の7世紀に現れる。	山田高松古墳(推古) 春日山古墳(用命) 段
上円下方墳 じょうえんかほうふん			四角形の方墳の上に円墳を載せた構造。確認されたのは、全国で4基のみ。古墳時代後期7~8世紀につくられた。	府中熊野神社古墳 石の刀立古墳
四隅突出墳 よすみとつしゅつふん			弥生時代から古墳時代の過渡期。方墳で四角が突出した特異な形。西日本の日本海側に多く見られる。	西谷古墳

②10大古墳

	墳丘長さ(m)	古墳名	陵墓名	時期	所在地	備考
1	486	大仙古墳	仁徳天皇	5M	堺市	百舌鳥古墳群
2	425	菅田御廟山	応神天皇	5B	羽曳野市	古市古墳群
3	365	石津ミナサイ	履中天皇	5B	堺市	百舌鳥古墳群
4	360	造山古墳		5B	岡山市	岡山県吉備政権
5	335	河内大塚山		6E	松原市	古市古墳群
6	318	見瀬丸山	欽明天皇	6E	橿原市	堅塩媛陵
7	302	行燈山古墳	景行天皇	4E	天理市	柳本古墳群
8	288	土師ミナサイ		5E	堺市	百舌鳥古墳群
9	286	仲津山古墳		5B	藤井寺市	古市古墳群
10	276	作山古墳		5M	総社市	岡山県吉備政権
11	276	箸墓古墳	百襲媛命	3M	桜井市	卑弥呼? 纏向古墳群

○大仙古墳 (世界最大古墳)

(5世紀半):堺市歴史散策(25. 11. 1)
(造成期間: ≒2000人/日 * 15年)

御陵全景 TOM

堺・堺南・堺東南・堺東・堺北・堺西
堺おひすみ・堺家ヶ丘・堺清隆・堺中
堺北西面西・堺フニクス・堺フラワー

○景行天皇陵 (L = 302m)

(3世紀半):“山辺の道”自然観察会(H26. 6. 13)




行燈山古墳

③世界三大墳墓の比較

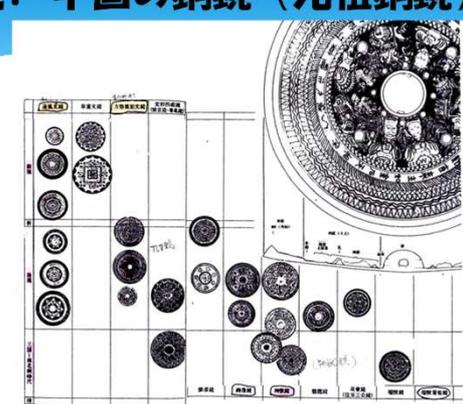
墳墓名	全長	高さ	積体
仁徳天皇陵	486m	35.8m	140 万 m ³
クフ王のピラミッド	230m	146m	260 万 m ³
秦の始皇帝陵	350m	76m	300 万 m ³

仁徳天皇陵古墳
クフ王のピラミッド
中国の秦の始皇帝陵

[5] 銅鏡の種類 (三種の神器の一つ)

- * 1. 銅鏡と言えば!
- * 2. 中国の銅鏡
- * 3. 銅鏡の種類
- * 4. 日本最大の銅鏡

2. 中国の銅鏡 (元祖銅鏡)



2. 1 三角縁神獣鏡



三角縁
三角縁神獣鏡の断面

2. 2 方格(ホウカク)規矩(キク)銅鏡

